

株式会社メニコン



2022年3月期 第3四半期決算説明資料

証券コード : 7780



2022年2月14日

目次

I .2022年3月期第3四半期 連結業績概要

II .2022年3月期通期 連結業績予想の修正

III .Topics

I .2022年3月期第3 四半期 連結業績概要

決算のポイント

➤ 2022年3月期第3四半期 連結業績

売上高：前年同期比 **+112.8億円 +17.8% (増収)**

- ✓ 中国販売拠点(板橋貿易)のグループ加入により海外売上高伸長
- ✓ 海外売上高：105.0億円 → **190.7億円 (+81.6%)**
- ✓ 海外売上高比率：16.6% → **25.5%**

売上総利益：前年同期比 **+55.9億円 +16.6% (増益)**

原価率：46.7% → 47.3%

営業利益：前年同期比 **+11.2億円 +16.3% (増益)**

営業利益率：10.9% → 10.8%

決算のポイント

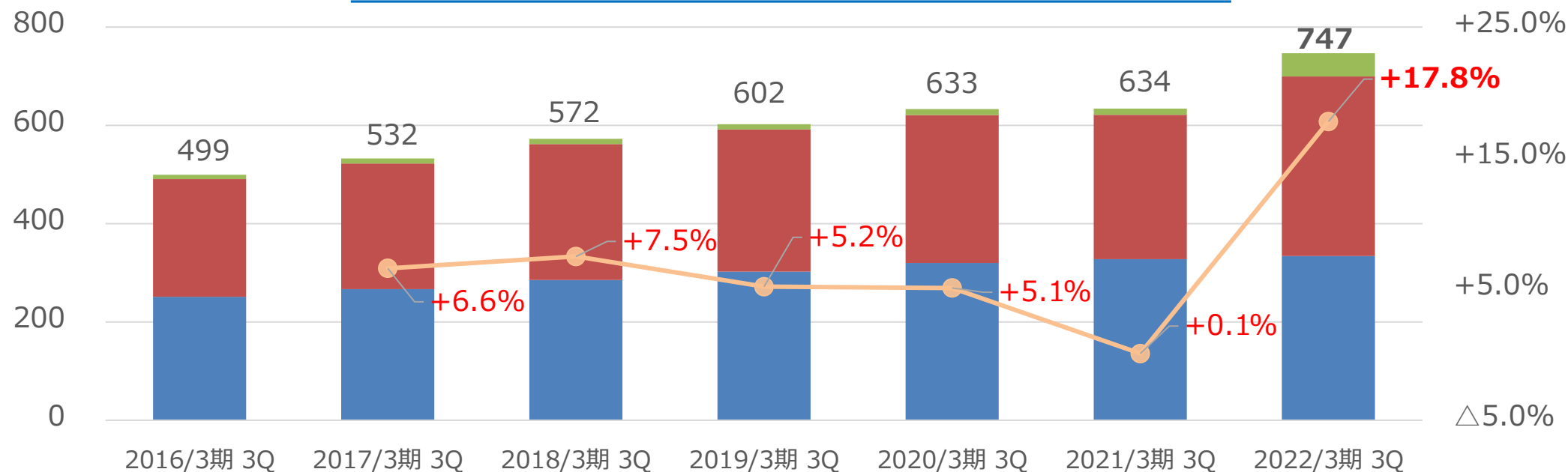
- ✓ ビジョンケア売上 … 国内：メルスプランの1DAY会員数増加による平均顧客単価アップ
海外：アジア（中国）を中心にオルソケラトロジーレンズ及び
レンズケアの販売数増加
- ✓ ヘルスケア・ライフケア売上 … 食品事業(2021年1月完全子会社化の板橋貿易)の加算

連結売上高
(億円)

連結売上高推移（第3四半期）

前年同期比

連結売上高は前年同期比+17.8%の伸長



2016/3期 3Q

2017/3期 3Q

2018/3期 3Q

2019/3期 3Q

2020/3期 3Q

2021/3期 3Q

2022/3期 3Q

■メルスプラン

■物販*

■ヘルスケア・ライフケア

●前年同期比

※物販：コンタクトレンズ・レンズケア売上

新市場区分「プライム市場」への移行

- ✓ 当社は、2021年8月12日開催の取締役会にて、
「プライム市場」を選択申請することを決議
- ✓ 2022年1月11日に株式会社東京証券取引所より
新市場区分の選択結果が公表
- ✓ 当社は、2022年4月4日より「プライム市場」に移行

2022年3月期 第3四半期連結業績サマリー

百万円

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比
売上高	63,421	74,705	+11,284	+17.8%
売上原価	29,634	35,318	+5,684	+19.2%
(原価率)	46.7%	47.3%	---	(+0.6pt)
売上総利益	33,786	39,386	+5,599	+16.6%
販売費及び一般管理費	26,872	31,348	+4,475	+16.7%
(売上高販管费率)	42.4%	42.0%	---	(△0.4pt)
営業利益	6,914	8,038	+1,124	+16.3%
(売上高営業利益率)	10.9%	10.8%	---	(△0.1pt)
経常利益	7,203	8,093	+890	+12.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,918	5,358	+439	+8.9%
1株当たり四半期純利益	65.16円	70.89円	+5.73円	---

売上高の内訳

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額	前年同期比	百万円
連結売上高	63,421	74,705	+11,284	+17.8%	
① ビジヨンケア	62,171	69,945	+7,774	+12.5%	
国内売上高	51,700	53,366	+1,665	+3.2%	
メルスプラン	32,810	33,420	+609	+1.9%	
物販※1・その他	18,890	19,945	+1,055	+5.6%	
海外売上高	10,470	16,578	+6,108	+58.3%	
欧州	5,479	6,696	+1,216	+22.2%	
北米	555	887	+332	+59.8%	
アジア※2	4,129	8,614	+4,484	+108.6%	
オセアニア・アフリカ等	305	381	+75	+24.6%	
② ヘルスケア・ライフケア	1,250	4,760	+3,510	+280.8%	
国内売上高	1,216	2,267	+1,051	+86.4%	
海外売上高	33	2,492	+2,458	+7288.0%	

※1 「物販」はコンタクトレンズ・レンズケアを指します。

※2 2021年3月期は「アジア」に国内の代理店を通じた中国への主要な輸出を含んでいます。

連結売上高

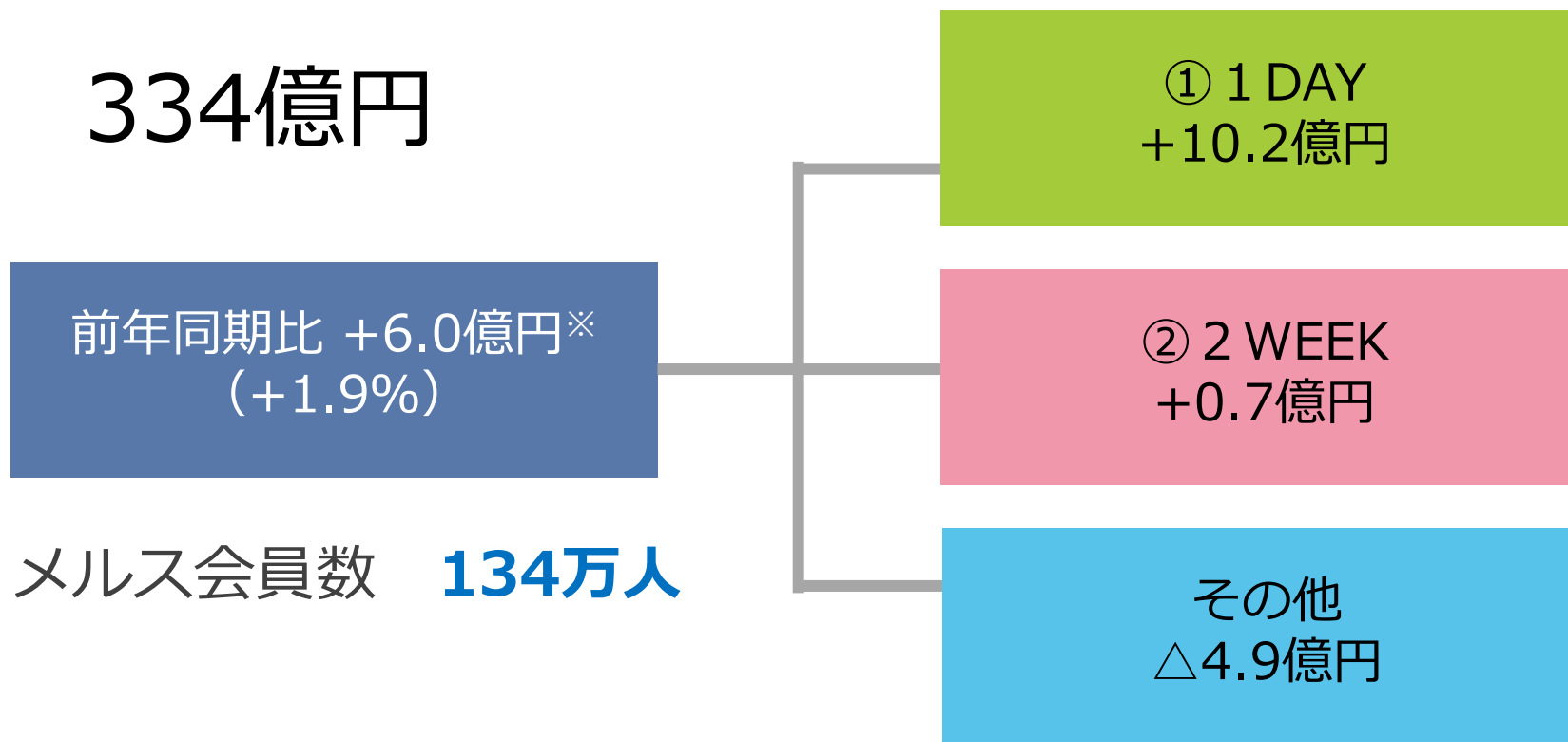
747億円

前年同期比 +112.8億円※
(+17.8%)①ビジョンケア売上
+77.7億円②ヘルスケア・ライフケア売上
+35.1億円

※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△10.1億円を含む。

主な理由

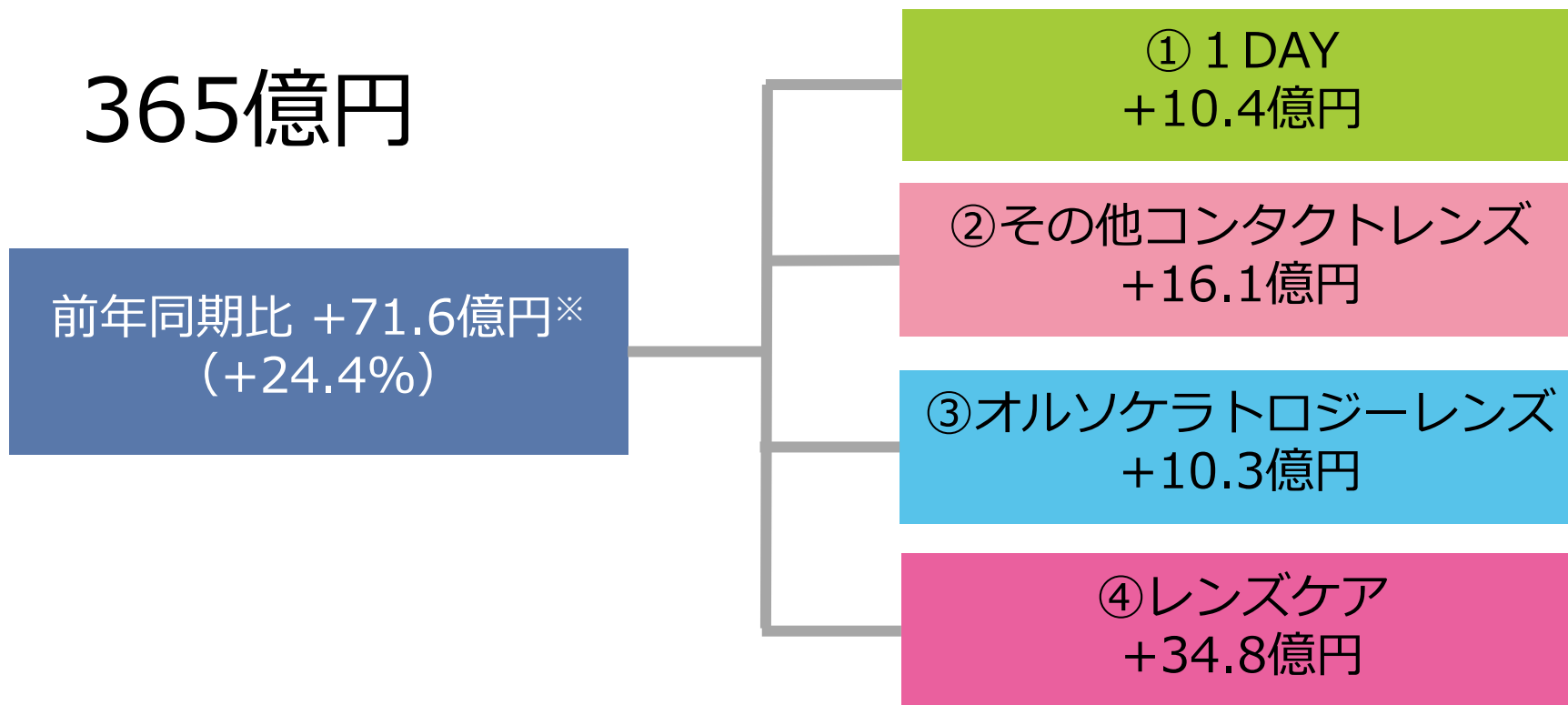
- ①アジア及び欧州地域を中心とした海外売上高の伸長
- ②板橋貿易による食品事業の加算



※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△2.1億円を含む。

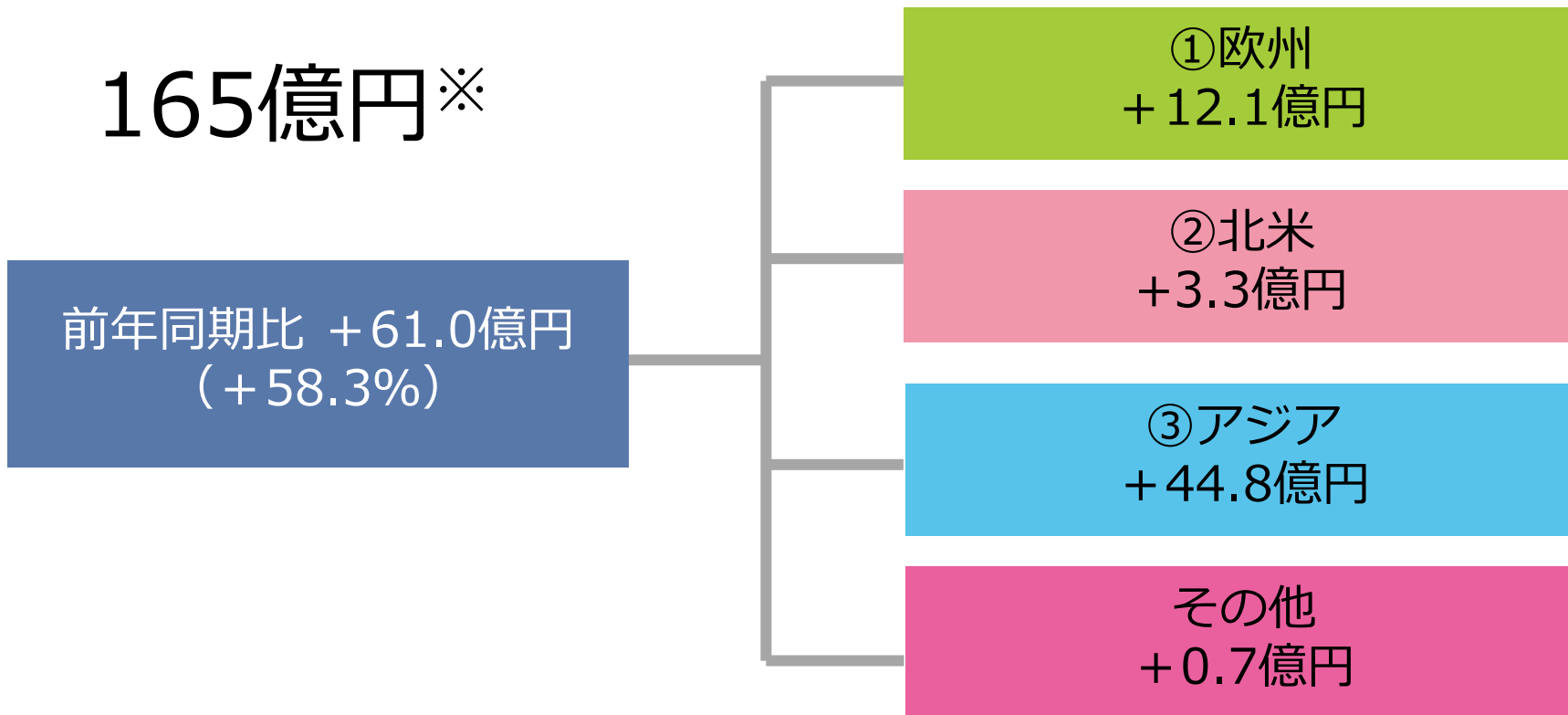
理由

- ① 1 DAY会員数が伸長
- ② 2 WEEK会員数が伸長



※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△6.6億円を含む。

- 理由
- ① 国内外の需要回復による売上伸長
 - ② コンベンショナルレンズ等の売上伸長
 - ③④ 中国での販売が伸長



※中国法人と当社は決算期が異なるため、当社第3四半期決算には中国法人の第3四半期決算(1-9月)を取り込み。

- 理由
- ①欧州:ディスポーザブルコンタクトレンズ (1DAY・1MONTH) が伸長
 - ②北米:1DAYとレンズケアが伸長
 - ③アジア:オルソケラトロジーレンズ・レンズケアが伸長

47億円

前年同期比 +35.1億円※
(+280.8%)①食品事業
+32.4億円②その他
+2.7億円

※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△1.3億円を含む。

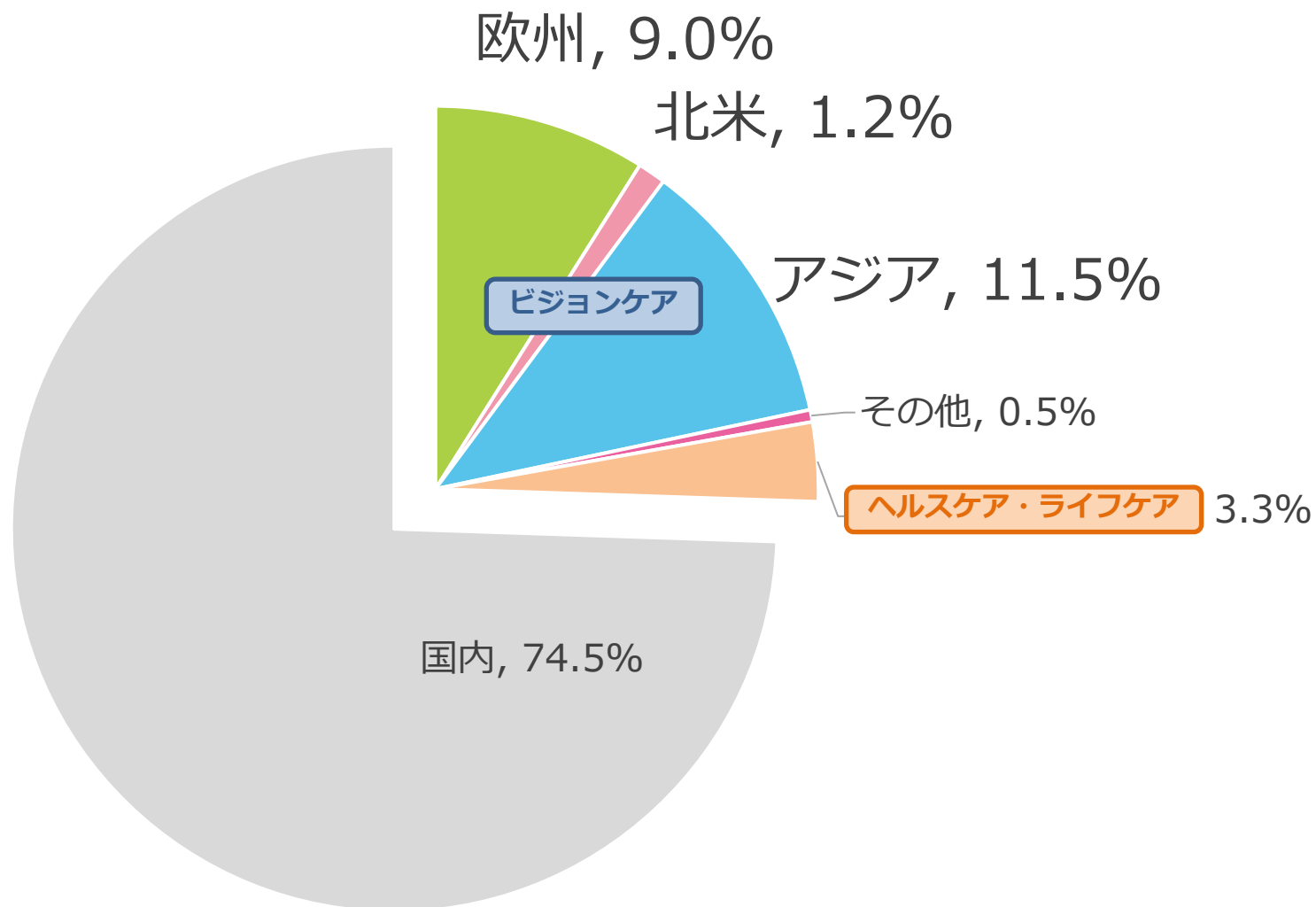
主な理由

- ①板橋貿易による食品事業の加算
- ②動物医療事業(メニワン),環境バイオ事業等の売上伸長

ビジョンケア

ヘルスケア・
ライフケア

海外売上高比率



海外売上高比率

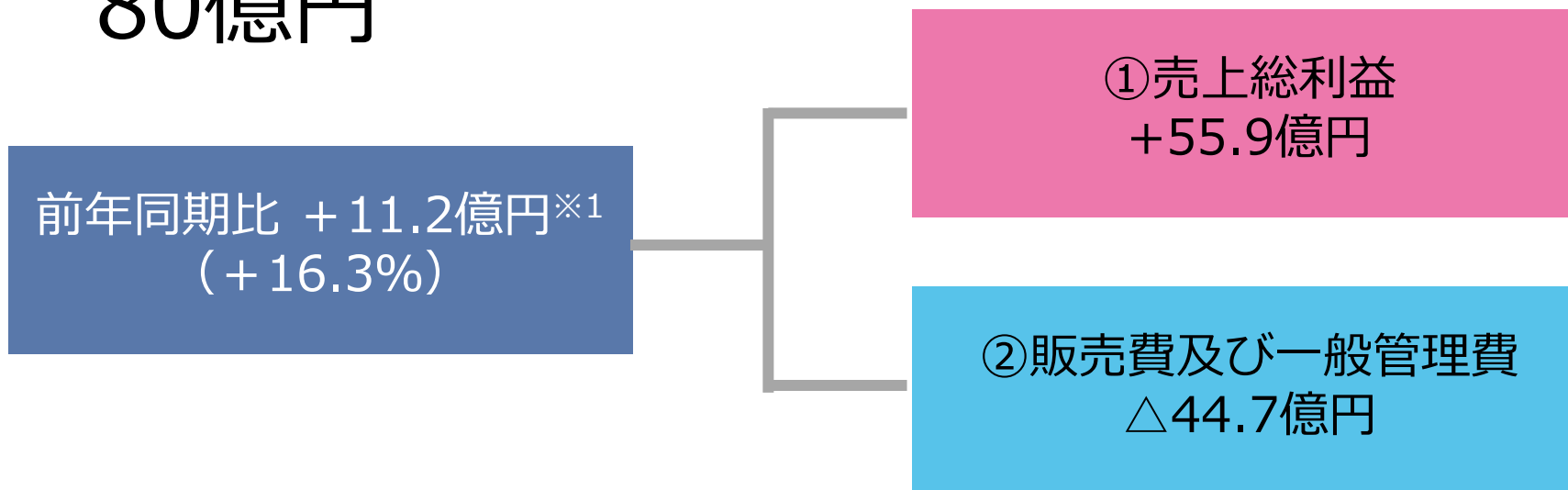
2021/3期 第3四半期
16.6% (105.0億円)

↓ **+8.9pt**

2022/3期 第3四半期
25.5% (190.7億円)

連結営業利益

80億円



※1 収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△0.9億円を含む。

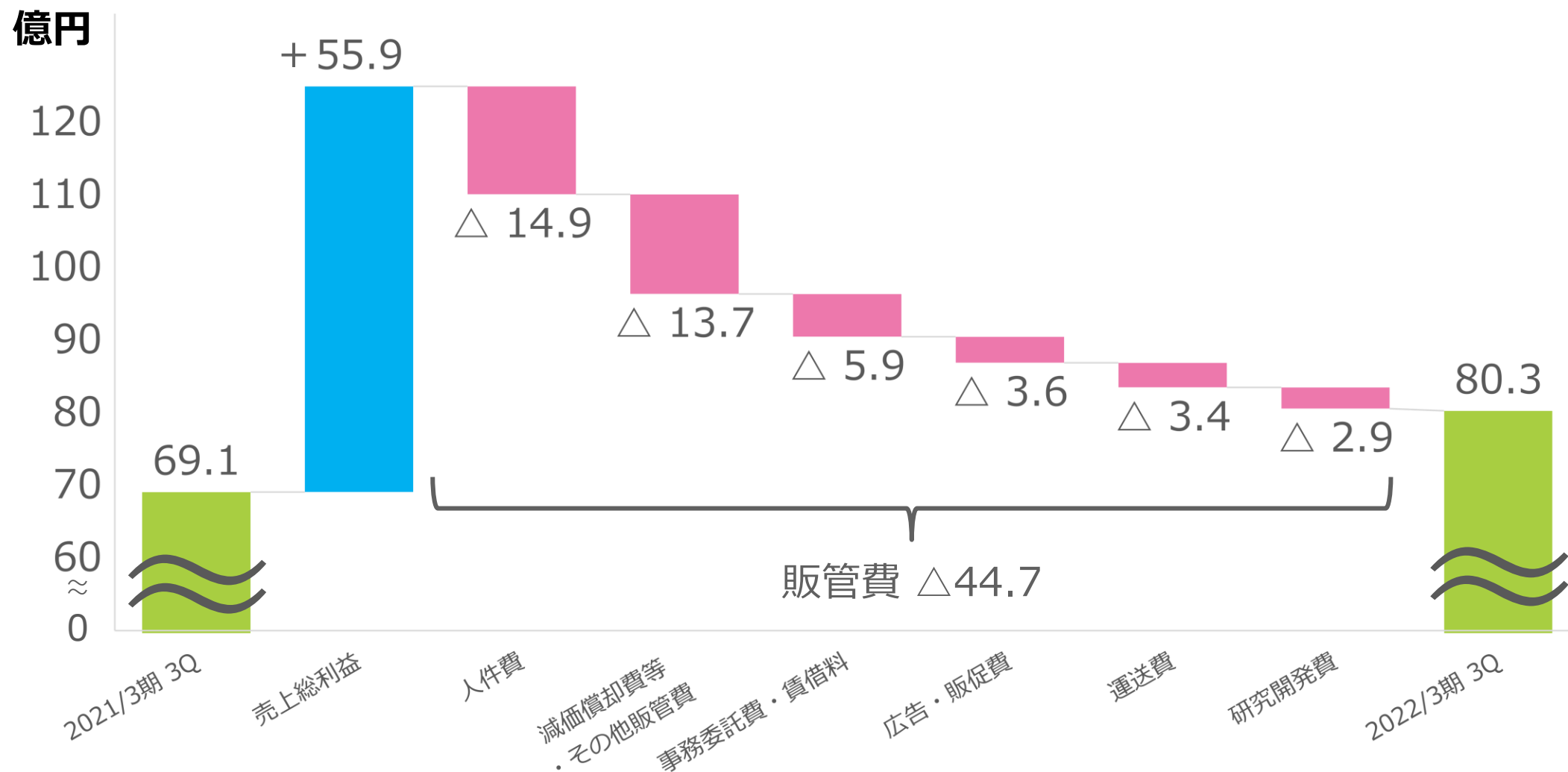
主な理由

- ①②グループ会社の増加^{※2}により売上総利益及び販管費は増加
- 営業利益率：10.9% → 10.8% (△0.1pt)
- 利益構造に大きな変化なし

※2 ハマノコンタクト及び板橋貿易グループ

連結営業利益分析

売上総利益の増加



Ⅱ.2022年3月期通期 連結業績予想の修正

連結業績予想 (2022年2月14日発表)

➤ 2022年3月期 連結業績予想

→ 売上高及び営業利益以下の各段階利益を上方修正

売上高：通期予想 994億円 増減率 **+0.2%**

- ・メルスプラン：会員数134万人を予想（新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響）
- ・物 販：コンタクトレンズに対する底堅い需要に加え、中国でのオルソケラトロジーレンズ及びレンズケアの販売が堅調

営業利益：通期予想 96億円 増減率 **+6.7%**

- ・第4四半期：国内では春の最大需要期に向けた集客策の実施、海外では1 DAYの販売拡大のための費用の使用を予定
- ・通 期：販管費の効率的な使用による売上高販管費率の低減を見込む

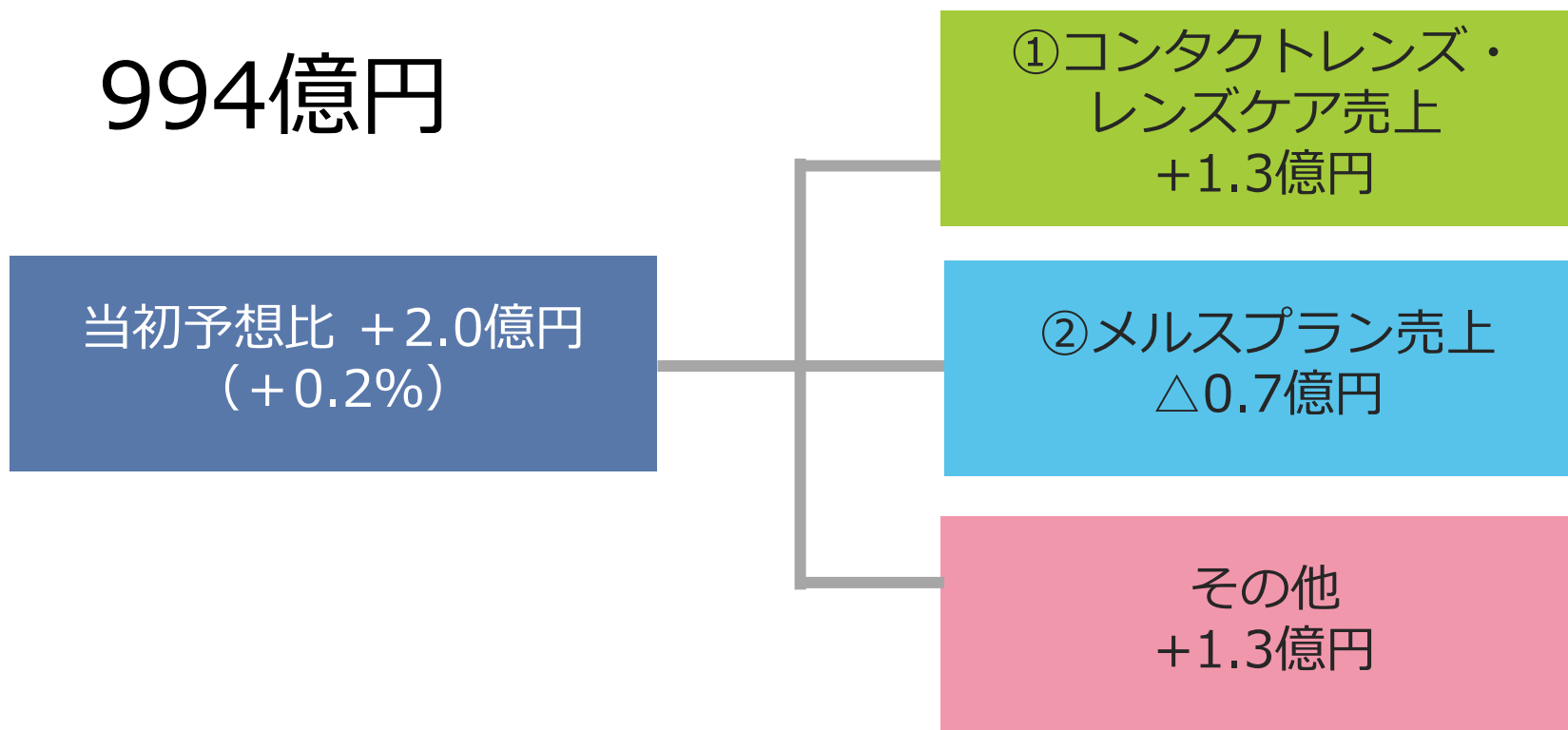
連結業績予想 (2022年2月14日発表)

		百万円			
		2022年3月期 当初予想	2022年3月期 修正予想	差 異	増減率
売	上 高	99,200	99,400	+200	+0.2%
売	上 原 価	46,600	46,900	+300	+0.6%
(原 価 率)	47.0%	47.2%	(+0.2pt)	---
売	上 総 利 益	52,600	52,500	△100	△0.2%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		43,600	42,900	△700	△1.6%
(売 上 高 販 管 費 率)	44.0%	43.2%	(△0.8pt)	---
営	業 利 益	9,000	9,600	+600	+6.7%
(売 上 高 営 業 利 益 率)	9.1%	9.7%	(+0.6pt)	---
経	常 利 益	8,800	9,500	+700	+8.0%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る					
当 期 純 利 益		5,700	6,000	+300	+5.3%
1 株 当 た り		75.42円	79.36円	+3.94	
当 期 純 利 益		(150.83円※)	(158.72円※)	(+7.89円※)	---

⇒

※参考 2021年10月1日効力発生日とした株式分割前の数値

連結売上高予想

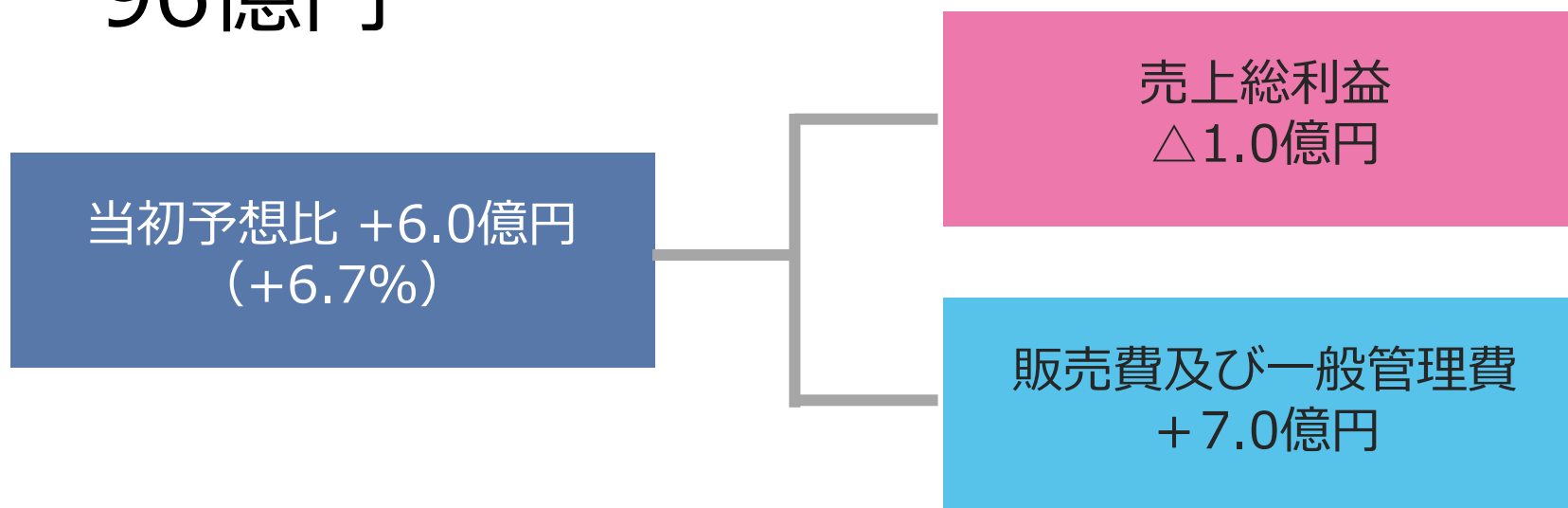


主な理由

- ①コンタクトレンズに対する底堅い需要に加え、中国におけるオルソケラトロジーレンズとレンズケアの販売が堅調
- ②新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響を予想

連結営業利益予想

96億円



主な理由

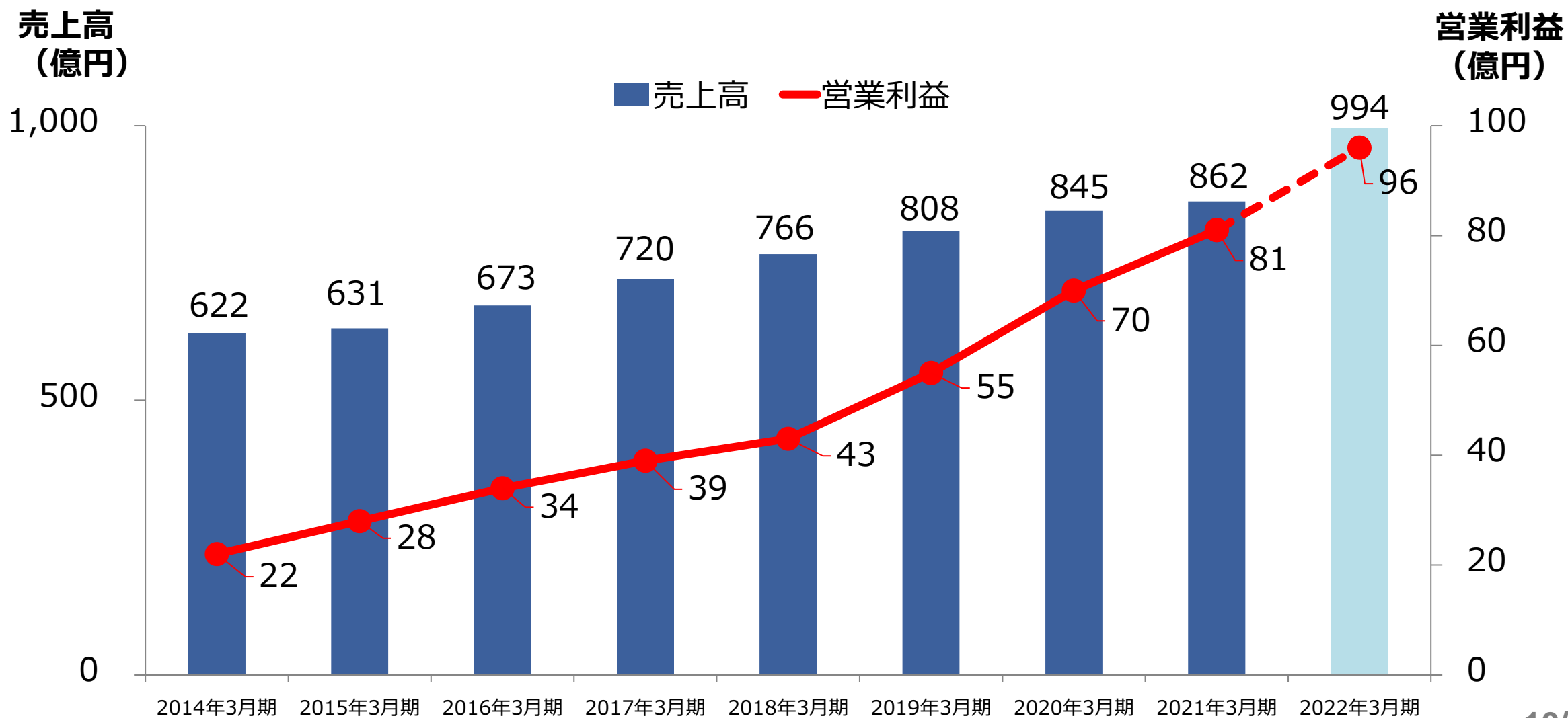
通期では売上高販管費率の低減により営業利益の増加を見込む
(4Qは販売拡大のための費用の使用を予定)

連結業績進捗状況

百万円

	2021/3期 実績		2022/3期 3Q		2022/3期 修正予想		進捗率
売上高	86,209		74,705		99,400		75.2%
(原価率)	46.9%		47.3%		47.2%		---
売上総利益	45,817	⇒	39,386	⇒	52,500		75.0%
営業利益	8,106		8,038		9,600		83.7%
(売上高営業利益率)	9.4%		10.8%		9.7%		---
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	5,952		5,358		6,000		89.3%

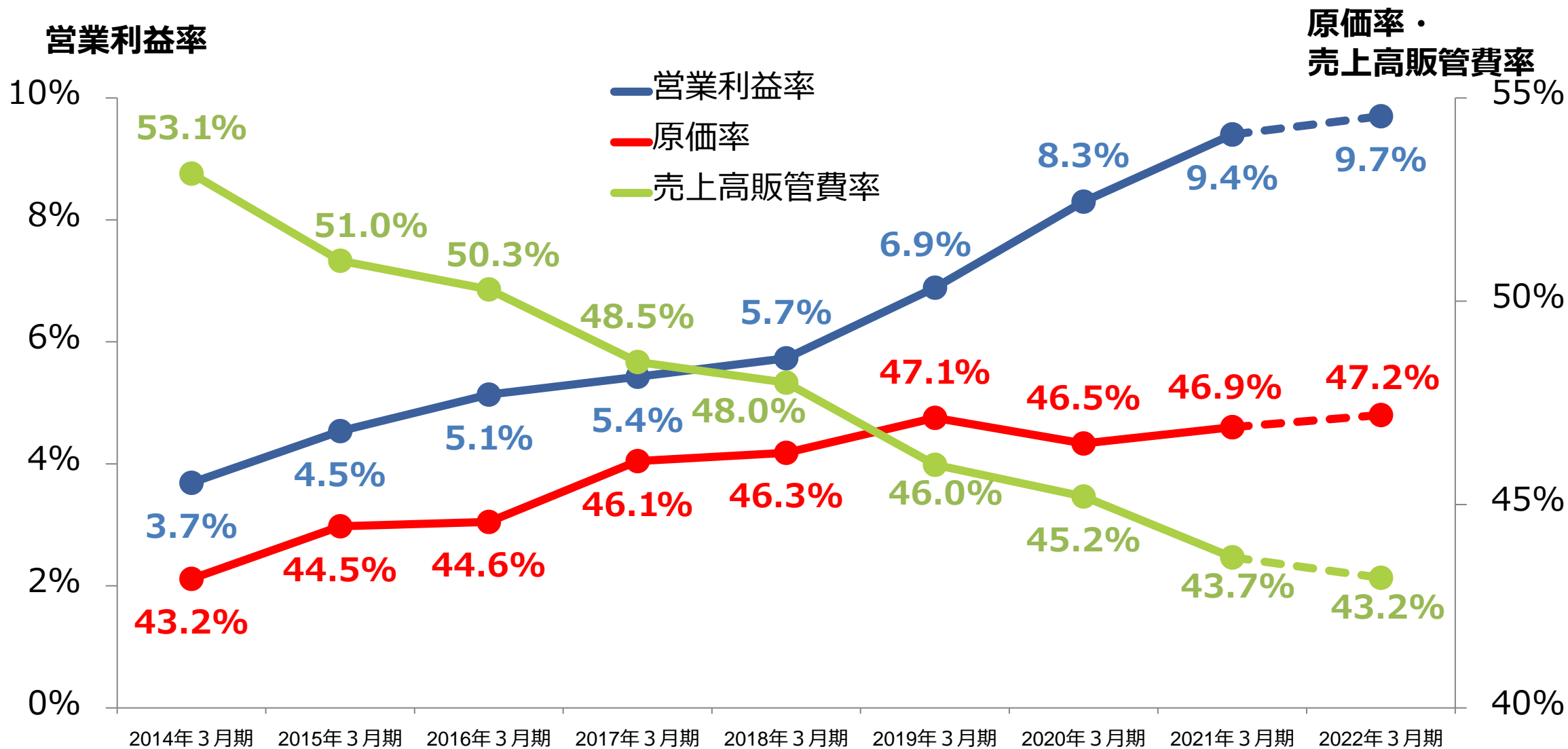
連結売上高・連結営業利益推移



10/31

(予想)

原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



9/31

(予想)

配当予想

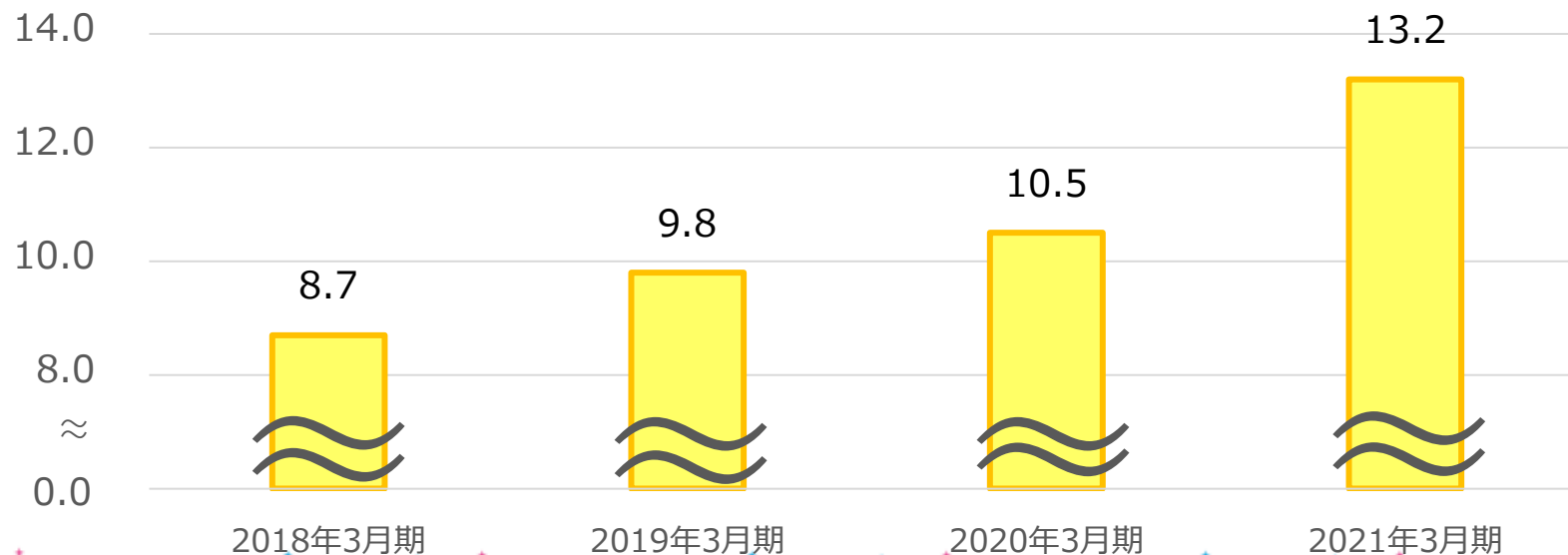
- ✓ 2021年10月1日を効力発生日として、1：2の株式分割（2分割）を実施
- ✓ 2022年3月期 1株当たり**17.5円**（分割前:35円）の年間配当を予想

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)
1株当たり配当金※	12.5円	14円	14円	17.5円 普通配当 15円 記念配当 2.5円	17.5円
配当性向	33.0%	27.6%	24.9%	22.2%	22.1%

単位:億円

配当総額

※2018年3月期の期初に株式分割されたと仮定して計算



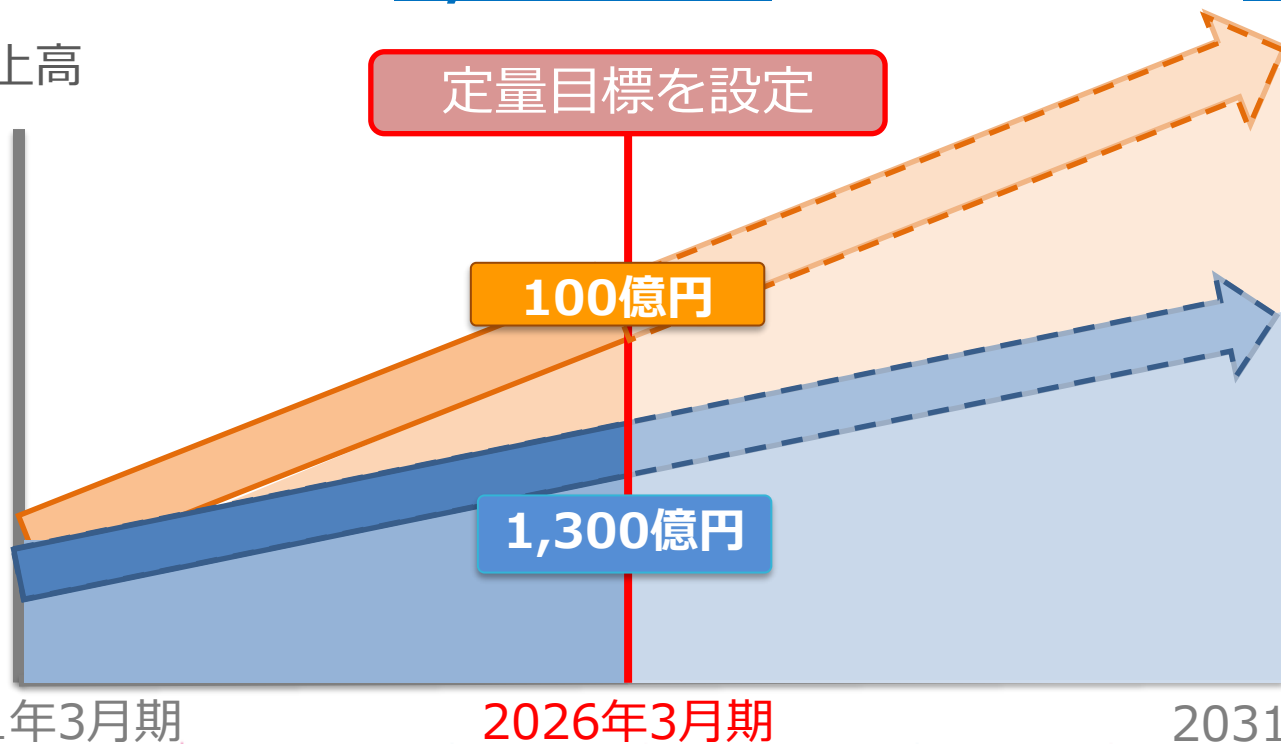
Ⅲ. Topics

中期経営計画「Vision2030」

新しい「みる」を世界に New Vision of Miru for the World

定量目標 2026年3月期
売上高: 1,400億円 営業利益率: 12% ROE: 10%

売上高



【ヘルスケア・ライフケア】
 新たな事業を展開
 ・ペットライフ
 ・健康／食品ビジネス
 ・環境ビジネス

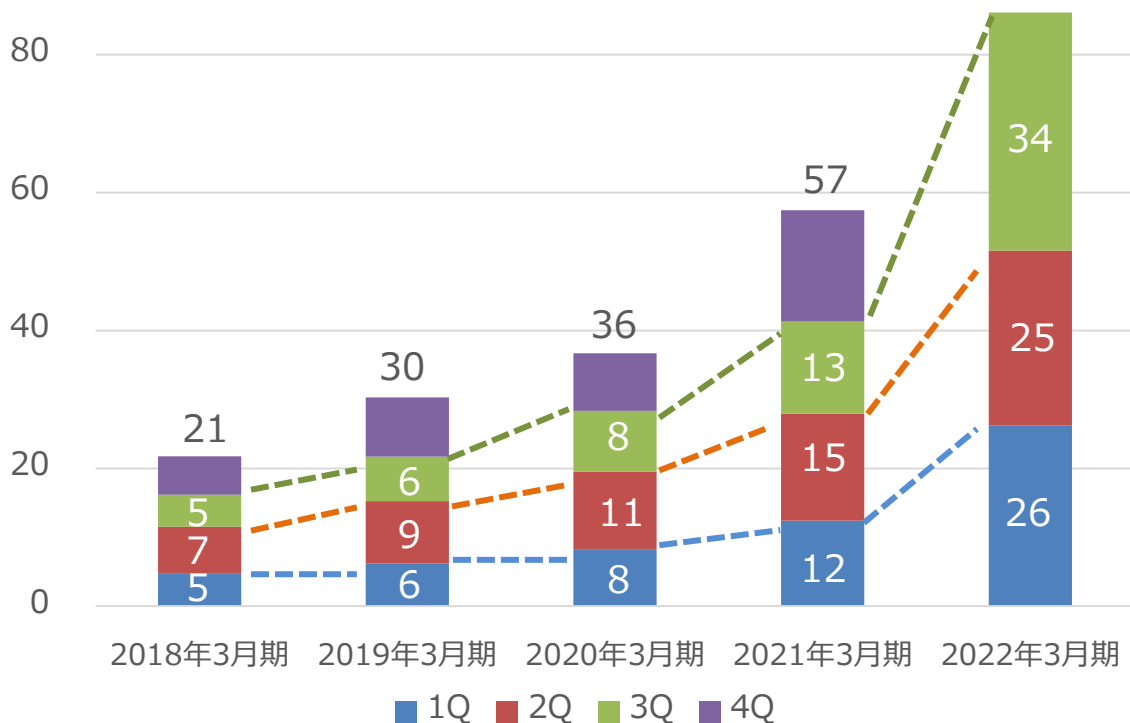
【ビジョンケア】
 コンタクトレンズ及び
 レンズケア事業の更なる拡大
 ①海外売上拡大
 ②メルスプラン拡大
 ③1DAY販売拡大

ビジョンケア
①海外

アジア売上の伸長

- ✓ 中国に営業拠点を持つ板橋貿易グループ化により、アジア売上は伸長
- ✓ 引き続き、中国にてオルソケラトロジーレンズ及びレンズケアを拡販

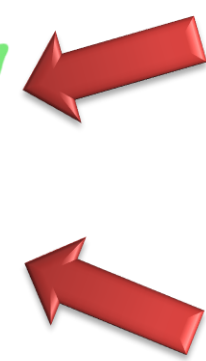
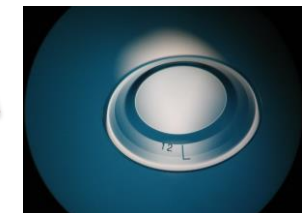
単位:億円 アジア売上高 (ビジョンケア)



2021年1月 完全子会社化
医療機器販売・輸出入



α ORTHO-K



※2021年3月期以前は、国内の代理店を通じた中国への主要な輸出を含んでいます。

1 DAYコンタクトレンズ ラインアップ拡充

- ✓ 1日使い捨て遠近両用コンタクトレンズ
「1 DAYメニコン プレミオ マルチフォーカル」
2022年1月よりラインアップ

1DAY Menicon

Premio multifocal

プレミオ マルチフォーカル



ビジョンケア
③ 1DAY

マレーシアに 1 DAY 新工場設立

- ✓ 1日使い捨てコンタクトレンズの生産能力を増強するため、マレーシアに新工場を設立
- ✓ 生産数は年間最大5億枚程度（各務原工場と同規模）
- ✓ 2022年8月 着工
2023年12月 物件引渡し
2025年 稼働開始
- ✓ 太陽光パネル設置など、環境にも配慮した設計



完成予想図

【新工場の概要】

敷地面積	約20万㎡
延床面積	約4万5千㎡
工場概要	地上1階（工場） 地上2階（事務所等）

ヘルスケア・ライフケア

食品事業の更なる拡大

- ✓ 東南アジアや北米等への輸出(鮮魚等水産物・コメ)、中国等からの輸入(乾物等)が主な事業内容
- ✓ 新規取引先の開拓や販売地域の拡大により、収益性の向上を目指す



免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2022年2月14日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先

株式会社メニコン 財務&IR部

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company